

第73回

1 ICHIBAN

ICHIBAN TOSO

●事業内容

外壁の塗装、床の塗装

● ICHIBAN TOSO

517 Hung Loc, Hung Dinh Ward, Thuan An Town, Binh Duong Prov.

ICHIBAN TOSO は、ビンズン省トゥアンアン区に本社を置く、塗装会社です。主に工場建物の、外壁、内壁、床、屋根などの塗装業務を行っており、日本品質の塗装をベトナムで実現しています。顧客の90%以上が日系企業で、ホーチミン市をはじめ、ビンズン省、ドンナイ省、ロンアン省などの南部各省での塗装実績を有しています。今回は、そんなICHIBAN TOSOを、2015年に立ち上げた、松下邦雄社長にお話を伺いました。

○ベトナム進出の経緯を教えてくださいか？

ベトナムに来るまでは、日本で家業の看板作成を行っており、海外で働くということは考えたこともありませんでした。しかし、2007年に弟がベトナムで塗装会社を立ち上げたことから、その手伝いをするために、2007年5月にベトナムへ来て、働くようになりました。ベトナムに来るときには、勿論ベトナム語も全く分からず、ベトナムの事もほとんど知らないという状況でしたので、多少の不安はありましたが、それ以上に新しい環境での事業ということで非常にワクワクした気持ちになったことを覚えています。その後、慣れない環境ながらも、仕事をしながら、ベトナム語を勉強するという日々が続きました。ベトナムは日本の様に様々な用途の塗料が充実しているわけでもなく、また、海外からの輸入塗料を使用するとコストが上がってしまう為、思うような塗料を使うことが出来なかったり、ベトナム特有の雨季のスクール、高温多湿な気候など日本とは全く違う環境で塗装を行うということで、悪戦苦闘の日々が続きましたが、仕事を通じて、様々なことを学ぶうちに、ベトナムでの塗装の問題点を、自ら研究、克服し、今では日本レベルの塗装をベトナムでご提供できるまでにな

りました。2015年に、前職の会社から独立し現在のICHIBAN TOSOを立ち上げましたので、この会社自体は、まだ設立間もない企業ではありますが、私が、これまでに培った経験と技術によって、ローカルの塗装業とは、比較にならない高品質の塗装をご提供できると考えています。

○ベトナムという国に対してはどんなイメージをお持ちでしたか？

ベトナムについては、特に意識をしたことがなかったので、一般の日本にいる人と同じくらいの知識しかなく、発展途上国で、メコンデルタの田舎のような風景のイメージが強くありましたので、実際にホーチミン市に来た時には、その発展ぶりに非常に驚いたのを覚えています。ビルが沢山あり、想像していたより大分発展していると感じました。生活に関しては、来る前からそんなに心配もしていなかったのですが、実際住んでみても、特に病気になることもなく、食事もいいので、生活面での困難は特にありませんでした。

○事業内容に関して教えていただけないでしょうか？

弊社の主な事業内容は、工場の塗装業務になります。最も多いのは工場が建設

された時点で、工場の外壁、内壁、屋根、床など塗装の必要な部分をすべて塗装する塗装工事になりますが、それ以外にも既存工場の外壁の塗り替え・設備の補修なども行っています。主な取引先は90%以上が日系企業となっています。対応エリアとしては、ホーチミン近郊のドンナイ省、ビンズン省、ロンアン省、バリアブントウ省などの各省の対応が可能ですが、ハノイとその周辺の北部エリアにつきましては、現時点では、管理が難しく対応していません。ベトナムの塗装業務は、当然ローカル企業も行っているのですが、その品





質は、お世辞にも良いとは言えないものばかりです。ローカル企業の施工した塗装は、雨季になると問題が発生して、再塗装となるものが多くあります。これは、塗料などの問題もないわけではありませんが、最も根本的な問題として、下処理が十分にされていないことが、最も大きな原因です。私自身、塗装は下処理がすべてだと感じていますし、この下処理が十分にできていない場合、幾らきれいに塗装を行っても直に劣化が起きてしまいます。下処理段階で、最も重要なことは、水の浸入を防ぐことです。塗装の劣化が起きる原因は、コンクリートに水が浸み込むで起きるのが殆どです。これを防ぐためには、まず、コンクリートへの水の浸入を防ぐことから始めなければなりません。

例えば、日本の建造物では、窓に水切りを取り付けることで、窓についた水滴がそのまま壁面を伝わることを予防していますが、ベトナムでは、あまり取り付けられていません。弊社の場合、塗装を行う前の下処理段階で必要と判断した場合は、水切りの取り付けから行います。また、その他にも壁に水が浸入する可能性があるクラックなどを塞いだり、排水の流れを確認して、徹底的に水の浸入を防ぐことを事前に行います。一見、塗装とは関係のないようなこのような作業が、最終的に塗装の品質を上げることに繋がっています。一般的に塗料というのは、きちんと塗れば3～5年はもつのですが、一般的なベトナムローカルの塗装業者の場合、塗料の質が悪かったり、下処理をしっかりと出来ていないために、雨季になると色が飛んだり、クラックが出たり、つぎはぎが目立つようになっていたりして、酷いところでは1年も持たないケースもあります。弊社の場合、塗装の品質に自信を持っていますので、通常は塗装に関して3年保証をおこなっています。また、断熱

塗料や防カビ塗料といった特殊な用途の塗料も日本から塗料を輸入して対応が可能です。短期的なコストでは、ベトナムローカル企業との価格競争は難しいですが、3年トータルで見した場合のコストと品質では、ベトナムローカル企業よりも良いものをご提供できると自負しています。また、工場の外壁、内壁、床、屋根などの塗装無料検査も実施しています。

○ベトナム人スタッフについてはどのように評価していますか？

弊社では、現在現場スタッフが約50名、オフィススタッフが10名の60名の社員がおります。日本人は、私と、営業担当がもう1名の2名体制です。年齢層は、90%が30歳以下と若い人が多いです。ワーカーに関しては、きちんと指示を行うと、指示を守って丁寧な仕事してくれるようになりましたので、助かっています。勿論、初めの頃は初歩的なことを何度も言い聞かせないといけないなど苦労も多かったのですが、今では、初期のメンバーの中からマネージャーに成長したスタッフが、現場の支持を行ってくれるので、だいぶ楽になりました。スタッフに関しては、入れ替わりも激しいですが、中心になるメンバーは、初期のころから残ってくれているので、それほど問題はありません。社内のコミュニケーションは、ベトナム語と英語が殆どです。私は、ベトナムに来てからベトナム語をほぼ独学で勉強したので、社内では基本的にベトナム語でコミュニケーションをとっています。ベトナム人スタッフへの評価ついてですが、多くの場合、ベトナムの人は、問題が起きる前に問題が発生を未然に防ぐという考えがあまりなく、問題が起きてから、解決するというスタンスの人が多く感じます。もう少し自分で、よく考える癖をつけてほしいと思っています。

○ベトナムで事業を行う上で苦労した点がありますか？

一番は、やはり人材教育ですね。ベトナムに来た当初は、言えばわかると思って、1年のうち300日は、ワーカーにお説教をしていましたが、あまり全体的な効果が出ずに悩み続けてきました。それと、管理システムの構築にも苦労しました。如何にして、全体の作業効率を上げるかということを常に考えて、社員へ指示を行っていますが、社員個々が自分で考えることが苦手な人が多いので、直ぐに非効率な作業と

なってしまいます。この辺を以下に改善するかが今まで苦労してきた点ですし、これからは苦労する点だと思っています。

○今後の事業展開をお聞かせいただけないでしょうか？

日本品質の塗装をベトナムで展開したいと考えています。多少価格が高くても、長い目で見たときに確実にお客様にメリットを感じて頂けるよう日々改善に取り組んでいますので、少しでも多くのお客様にその点をご理解いただくのが現在の目標です。また、現在は、お客様の90%以上が日系企業ですが、今後は、台湾、シンガポールなど他の外資系企業にもサービスを提供していきたいと考えています。

最後になりますが、弊社では、塗装に関するご相談に無料対応しておりますので、塗装に関して気になることがあれば、何なりとご相談をお待ちしております。また、塗装検査も無料で対応しておりますので、塗装から5年を目安に検査をご依頼いただければ、屋根の上など普段目に見えない部分まで細かく検査して報告書を作成いたしますので、是非ご相談を頂ければ幸いです。

ありがとうございました。





1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

知らないと損する工場メンテのツボ

屋根編

第一回

皆様こんにちは。突然ですが、工場メンテナンスに関わるチェック項目を作成したので、該当項目が無いかチェックしてみてください。

1. ベトナムで事業を始めてから定期検査をしたことがない。
2. 1年前に点検したが、雨漏りに悩むようになった。
3. 床の剥がれや膨らみが目立つようになった。
4. 工場の点検をしたいと思っているが、忙しくて点検に踏み切っていない。
5. 自分でやれば施工費用が抑えられるから問題ない
6. 保証期間があっても、本当に保証してもらえるか心配

如何でしょうか？1つでもチェックが入った場合は、是非以下をご一読ください。

今回から『知らないで損する工場メンテのツボ』をお届けすることになりました一番塗装の松下です。第一回目の今回は、“屋根”をテーマにお話しします。

建物の中で屋根は、雨風や日光が直接あたる時間が一番長い場所ですが、普段は一番人目につにくい場所です。ベトナムのローカル業者の施行した建造物は、日本で施工した建物に比べてずさんな仕上がりが多く、雨漏り修理に多額のコストがかかることがあります。しかし、雨漏りする前にきちんと屋根のメンテナンスを行っておけば、余計なコストを抑えることができます。では、どのような点に気を付ける必要があるのでしょうか？

●屋根に穴が開く理由

雨漏りの原因の一つは屋根に穴が開くことです。では、どうして屋根に穴が開くのでしょうか？考えられる主な理由は以下の2つです。

1. 屋根のネジが錆びたり、雨風に耐え切れずネジが取れることでネジ穴があらわになる。
2. 屋根の塗料が剥がれ、板金の屋根が錆びて穴が空く

特にベトナムは、雨季のスコールや乾季の直射日光など自然環境が厳しいので、ベトナムで通常使用されている塗料では耐え切れずに直ぐに劣化してしまいます。

●屋根を長持ちさせる為には

先ずは屋根材ですが、一般的なトタンより防錆性が5倍、耐久性が10~20年以上もあるガルバリウム鋼板(※1)のメッキ厚100g/m² (AZ100)以上をお勧めします。メッキの付着量が多いほど耐食性は向上しますので、これくらいの屋根材を使用した方が、結果的にコスト削減に繋がります。次に屋根の塗装にも注目してください。屋根の塗料には、いくつもの種類がありますが、中にはベトナムの自然環境では、直ぐに劣化してしまう塗料もあります。ベトナムの屋根用塗料としてお勧めは、遮熱塗料です。弊社が取り扱っている遮熱塗料は一般的な塗料に比べて耐候性が高く、塗料の種類にもよりますが状況に応じて10年以上長持ちする塗料もあります。更に遮熱塗料は、赤外線を反射させ屋根の温度を抑える効果がありますので、室内温度も抑えることが出来、冷房などの電気代を削減することも可能です。更に、ネジに関しても錆びにくく耐久性の高い物を選んだり簡単に外れないように施工してもらうことをお勧めします。

●屋根のトラブル事例

実際にベトナムで起きた屋根のトラブル事例をご紹介します。ある工場から雨漏り点検の依頼を受けて屋根の点検をした時のことです。



5年経過した屋根の状態 → 放置すれば、穴が空き、雨漏りへ

この工場は既存の建物と増設された建物の間に隙間があり、そこから雨水が大量に侵入してしまっており、数箇所程度の補修や修理をしたところで、必ず他の場所も修理が必要になり、手の施しようがなく正に崩壊寸前という状況でした。ここまで状況が悪化してしまつては、建物を立て直すのが最善の方法ですが、工場の建て直しには、莫大な費用と時間がかかってしまいます。建て直しをしない場合は、工場の崩壊を恐れながら、細かい補修を何度も繰り返していくしかありません。こういった事例を未然に防ぐ為にも、定期的に建物メンテナンスを行った方が結果的に経費削減に繋げることが出来ます。

一番塗装では、無料工場点検を実施中です。無料点検を実施頂いた企業様には、長期的ビジョンに基づき、最もコストパフォーマンスの高い塗装をご提案しています。雨漏りなどのメンテナンスはもちろん、遮熱塗料も実際に試験施工し、ベトナムの気候に適した各種塗料をご用意しています。他社には真似できない施工技術と品質でお客様の建物をお守りしますので、工場メンテナンスに不安があれば一番塗装にご相談ください。

※1・・・アルミニウムの特徴である耐食性、耐熱性、熱反射性等と、亜鉛の特徴である犠牲防食機能により、今までの鋼板よりも、さらに耐久性に優れ、あらゆる用途に対応できる鋼板。参考資料<http://www.nisc-s.co.jp/products/plating/02/>



5年以上経過した屋根の状態 → 損傷が激しいため、雨漏りへ

工場の外壁・内壁・床・天井・屋根の塗装無料検査します！

- 無料検査
- 高い診断能力
- 養生・清掃も徹底
- 最大3年保証
- 優れた塗装技術
- 日本人が監修



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

知らないで損する工場メンテのツボ

壁編

第二回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。今回は「壁」をテーマにお届けします。

会社の外壁は、人で例えると顔にあたります。外見で清潔感のない人が第一印象で良く思われないうと同じように、工場の外壁が汚れていると会社の印象もあまり良くなりません。それでもただ汚れているだけなら、綺麗にすればよいのでそれほど大きな問題はありません。しかし、一般的にベトナムローカル企業が良く行う「塗るだけ外壁塗装」は、問題だらけです。壁自体に問題があるにも関わらず、補修をせずにそのまま塗装している場合、1年前後ですぐに壁の塗装がボロボロになってしまいます。こうなってしまうと、補修に膨大な費用が掛かります。外壁の塗装には、どのような問題があるかを理解した上で適切な点検を行えば見た目の美しさを長持ちさせることが出来ます。

壁の天敵 クラック(ひび割れ)

ベトナムの建物の壁は日本と違って一般的にブリック(レンガ)を使用し、モルタルで壁を作り、その後作った壁に塗装していきます。しかし、モルタルは水で練ったものですから、乾燥とともに水分が無くなると、収縮して亀裂(クラック)が入ります。面積の広い壁ほど、乾燥収縮による影響が大きいのです。このクラックにも直には悪影響がないものから緊急に補修しないといけないものまで様々な種類がありますので、注意が必要です。実際問題として、モルタルやコンクリートの壁にクラックが発生することを完全に防ぐことは、殆ど不可能と言えます。しかしクラックは放置しておけば、また元に戻るというものでもありませんし、クラックによって外壁の塗装に大きな悪影響が出る可能性もあるのです。

では、クラックが発生するとどのような影響がでてくるのかをご説明します。

クラック1つで建物の崩壊の危機に。。

クラックが発生してしまうと、そこに水が入ることによってコンクリートやモルタルが傷んでしまいます。コンクリートやモルタルは水で練られているので、そこに大量の水(雨水)が入ってしまうとコンクリートやモルタルが崩れてしまいま

す。最悪の場合、壁の崩壊の危険性まで潜んでいます。

もし、クラックが発生してしまったら

コンクリートやモルタルは100%クラックが発生します。しかし、クラックの補修は可能です。補修方法をしっかりと行えば、クラックの再発を抑制することが出来ます。

クラック補修の判断基準

まず壁を目視して、髪の毛より大きなクラックが発生していれば出来るだけ早く補修をお勧めします。そのまま放置して置くと雨水が入ることによってクラックがどんどん大きくなり、補修費用がかさむ原因にもなります。次に内壁面を目視して壁にシミなどの形跡がある場合、確実に水が浸入してきているので直ちに補修工事をお勧めします。水が浸入しているということは、モルタルやコンクリートの劣化も始まっているということで、放置しておくことで劣化がどんどん進んでしまいます。

建物の外観を汚す雨垂れ

外壁の問題でよくあるのが雨垂れです。雨垂れが酷く外壁全体に無数の黒い筋が広がってしまうと、折角の綺麗な建物も台無しになってしまいます。そこでこの雨垂れによる外壁の汚れを予防する方法をご説明します。

どうして雨垂れが起こるのか

雨垂れというのは、壁面と塗装の間や表面に詰まった汚れや壁の上部の汚れが雨で流れ、乾燥する時に黒い筋となって残ってしまったり、モルタル成分や砂ぼこりが雨水で流れて黒い筋になって出来るものです。雨によって流された汚れの筋という認識で良いかと思います。

雨垂れ対策方法

雨垂れを防止する最も良い方法は、雨水の流れを遮断することです。通常、雨垂れが一番起こりやすいのはパラペット(*1)の上からです。パラペット上部に内向きの傾斜をつけ、雨水が外側に流れないようにすれば、外壁面に黒い雨垂れが発生することを抑えられます。

(*1)パラペットとは、陸屋根の周囲にある立ち上がった部分のことを指します。歩行者の落下防止や雨水の外壁への侵入を防止する役目もあり、手摺の代わりにもなります。

一番塗装では、雨垂れの発生を抑える壁塗装

を行う事ができます。万が一施工後雨垂れが発生してしまった場合も3年間(*2)の保証期間中であれば無償で補修しています。

また、無料工場点検も実施中です。無料点検を実施頂いた企業様には、長期的ビジョンに基づき、最もコストパフォーマンスの高い塗装システムをご提案しています。

クラック補修や雨垂れ防止などの、他社には真似できない施工技術と品質でお客様の建物をお守りしますので、工場メンテナンスに不安があれば是非、この機会に一度ご相談ください。

(*2)保証に関しては、建物の状態、状況により異なります

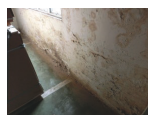
クラックの激しい箇所。雨が降った時にモルタルも流れ出てしまい劣化が早い。



クラックから白いセメント成分が雨で流れてしまっている状態。このまま放置すればセメントがボロボロに劣化し、崩れ落ちる。



外側から水が浸入してしまい、内側の壁が激しく傷んでいる状態。この状態は、大変危険でいつ壁が崩れてきてもおかしくない。



雨垂れビフォーアフター



左は雨垂れを補修する前1
雨垂れが酷い

右は雨垂れを補修した後
雨垂れが無くなっている

工場の外壁・内壁・床・天井・ 屋根の塗装無料検査します!

- 無料検査
- 高い診断能力
- 養生・清掃も徹底
- 最大3年保証
- 優れた塗装技術
- 日本人が監修

1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
"この状況を打破する"べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中



1 ICHIBAN

第三回床編

壁編

知らないと損する工場メンテのツボ

第三回目最終となる今回は“床”をテーマにお届けします。

床は人や機械が接している時間が一番長い場所です。床といっても多種多様で、塗り床であったりタイルであったりと、その現場に合った塗装システムを採用しないと床はすぐに傷んでしまいます。塗料が傷み、床のコンクリートやモルタルが傷み始めると、ポロポロになり至る所で穴が空いてしまいます。こうなる前に床のメンテナンスを行いましょう。では、床に関する細かな注意点を注目していきます。

ただの床に思えてもただの床じゃない

金属加工工場ですと油を使って作業される現場が多いです。こうした油は床に染みこんでしまうと下地コンクリートやモルタルが酸化し、コンクリートやモルタルを傷ませてしまいます。塗り床などをしっかり施工してあれば何の問題もないですが、塗り床が剥げてしまっているとそこから油が床に染みこんでしまいます。しかも、一回染みこんだ油はなかなか除去することが出来ないのです。ベトナムローカル会社が施工した塗り床は、油が床に染み込んだまま、その上から塗装してしまっています。これではまた簡単に塗料が剥がれてしまいます。床塗装で一番大切な事は、下地処理をいかにしっかりとやるかです。下地処理を怠れば、床塗装はすぐに駄目になってしまいます。

下地処理の大切さ

床の下地処理をしっかりと行わないで床塗装を行った場合、すぐに塗料が床から膨らんだり、剥がれたりします。しかし一概に下地処理といっても現場によってやり方が変わってくるため、その場その場の判断を間違えてしまうと全てやり直しの事態に発展してしまうことになりかねません。工場内ではどのような薬品を使用しているか、どんなシステムで工場が稼働しているかを考えた上で下地処理を行わなければなりません。

目地カットの意味とY字カット

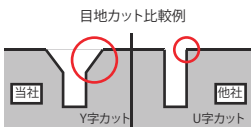
コンクリートやモルタルの乾燥収縮によるクラック(ひび割れ)は、どれだけ最高の条件を揃えても完璧になくすことは難しいものです。

「乾燥収縮をなくす」ことを目標に努力することはもちろん必要ですが、実際にはある程度の収縮は避けられないというのが現状です。

それならば、収縮によって発生したひび割れを、事前に設けた誘発目地(*1)に集中させてしまおうという発想が「クラック・コントロール」の考え方です

また目地カットを行ったさい、ただ目地カットするだけでは目地に強い衝撃を与えた場合、目地の角が割れてしまいそこから油や水が入ってしまいます。

目地カットをYの形にカットすることにより、目地の角の面積が小さくさり衝撃を与えても割れにくくすることができます。



(*1) あらかじめひび割れが発生する位置を計画的に定め、所定の間隔で断面欠損部を設けることによって、その位置にクラック(ひび割れ)を集中的に発生させることを目的とするもの。

一番塗装では、現場に合った塗り床塗装システムをご提案しています。万が一、塗り床施工後塗料の剥がれや膨らみが発生した場合、再度補修致します。(床の保証は1年) また無料工場点検を実施中です。無料点検を実施頂いた企業様には、長期的ビジョンに基づき、最もコストパフォーマンスの高い塗装システムをご提案しています。

目地で分けられた床と床の境目を平らにすることで、台車などを使用した際に衝撃を与えないように施工しています。日系企業ならではの品質です。



弊社が施工する前の床の状態です。塗り床は剥がれ、油等が染みこんでしまっています。

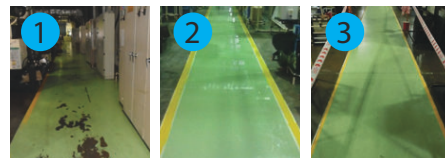


機械を使いしっかりと脱脂を行っています。



塗り床の施工とその後

① 施工前 ⇒ ② 施工後 ⇒ ③ 6ヵ月後



三回に渡りお送りしてきました、「知らないで損する工場メンテナンスのツボ」でしたがいかがだったでしょうか？屋根・壁・床と大きく分けて3種類の事例でご紹介いたしましたが、正直な所ご紹介出来たのはまだまだほんの一部だけです。塗装は工場を守る大事なポイントです。もし不安なことがございましたら、一番塗装までご相談ください。

工場の外壁・内壁・床・天井・屋根の塗装無料検査します！

- 無料検査
- 高い診断能力
- 養生・清掃も徹底
- 最大3年保証
- 優れた塗装技術
- 日本人が監修

1 ICHIBAN

☎ 517 Hung Loc Street, Hung Dinh Ward, Thuan An Town, Binh Duong Province
☎ 0650-3745-982 ☎ 0937-841-903 (日)
✉ matsushita-ikuo@ichibantoso.com

担当: 松下



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
"この状況を打破する"べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

知らないで損する工場メンテのツボ

遮熱塗装 ①

第四回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。第四回目となる今回は“遮熱塗装”をテーマにお届けします。

ベトナムの南部は、年間の平均気温が27℃前後と高く、乾季は、日中の直射日光もきついので建物の内部の温度が上昇しやすくなっています。その様な場合、屋根に遮熱塗装をおこなえば、室内の温度上昇を防ぐことが出来、空調などに係る電気代を削減できるという話を耳にされたこともあるのではないのでしょうか？
遮熱塗装を使用すると工場などの建物の温度上昇を防ぐことが出来る。これは、一見正しいようですが、実は、遮熱塗装を行ってもほとんど効果が無いケースがあることはご存知でしょうか？

●遮熱塗装と構造物の関係

遮熱塗装を行うと、塗装後は塗料が日光を反射する為、屋根の温度が上がらずしたがって建物内部の温度上昇を抑えることが可能です。
しかし、実は、下記の3つのケースでは、遮熱塗装を行っても殆ど効果を感じることが出来ないのです。

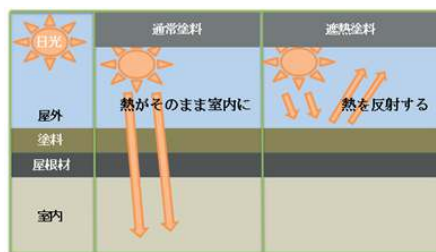
- ・建物の構造上、大きな開口部があるなど外気の通気性が高い場合
- ・建物自体が既に断熱構造で製造されている場合
- ・建物内部に強い熱源がある場合

上記の3つのケースについて、少し詳しく解説します。
まず一つ目に建物の構造の問題ですが、極端な例でいえば構造物が屋根と柱しかなく壁が無い場合、建物内部は外気が自由に

出入りしますので、屋根に遮熱塗料を塗装しても、外気温と同じ温度以下には下がりません。

2つ目の断熱構造ですが、建物が既に断熱構造となっている場合、遮熱塗装を行っても大きな改善は見込めません。

3番目の場合も、屋内に熱源があれば当然建物内の温度は上昇してしまいます。遮熱塗装は、あくまで直射日光を高反射率で反射して屋根の温度をあげないことで建物内の温度上昇を防ぐものであり、屋根の温度を下げるものではないことに注意が必要です。



ですからどんなに高価な遮熱塗装を行っても、建物の構造によっては、効果が見込めないことがあること留意してください。

逆に遮熱塗装によって大きな効果が見込めるのが、平屋で密封された建物の中でクーラーなどを使用しているケースです。この様な建物では、屋根が直射日光で加熱され、建物内部の冷房効果を弱めてしまっているため、屋根に遮熱塗装を行うことで、大きな効果が期待できます。遮熱塗装を行うことで、遮熱効果を十分に引き出せる業種としては、縫製工場や印刷工場などが挙げられます。また、密封された倉庫などでも高い効果が期待できます。遮熱塗装の効果は、天井の高さなど建物の構造によっても変わりますが、効果の高い建物では、最大で30%以上の冷房費用を削減できたというケースもあります。



遮熱塗装を行う場合は、後々のトラブルを避けるためにも、是非上記の点に注意して行うようにしてください。

当社では、遮熱塗装を行う前に必ず塗装を行う建物を事前検査し、遮熱塗装を行うことで、効果が得られるかどうかの確認を行っており、無理に効果の低い遮熱塗装を行うことはありませんので、遮熱塗装にご興味がありましたら、お気軽にご相談ください。



一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料を越南でテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。
また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回、遮熱塗装 ②をお伝えします。
次回も、お楽しみに!!

工場の外壁・内壁・床・天井・屋根の塗装無料検査します！

- 無料検査
- 高い診断能力
- 養生・清掃も徹底
- 最大3年保証
- 優れた塗装技術
- 日本人が監修

1 ICHIBAN



松下郁雄

1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

知らないで損する工場メンテのツボ

遮熱塗装 ②

第五回

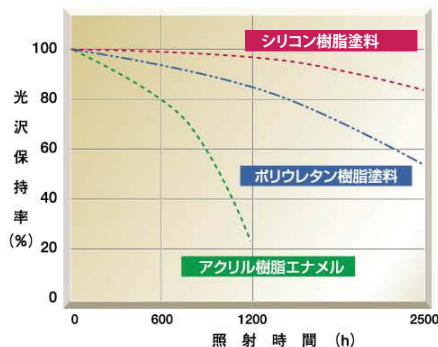
ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。第五回目となる今回は、前回に引き続き、“遮熱塗装”をテーマにお届けします。

ベトナムの南部は、年間の平均気温が27℃前後と高く、乾季は、日中の直射日光もきついで建物の内部の温度が上昇しやすくなっています。その様な場合、屋根に遮熱塗装をおこなえば、室内の温度上昇を防ぐことが出来、空調などに係る電気代を削減できるという話を耳にされたこともあるのではないのでしょうか？

遮熱塗料を使用すると工場などの建物の温度上昇を防ぐことが出来る。これは、一見正しいようですが、実は、遮熱塗装を行ってもほとんど効果が無いケースがあることはご存知でしょうか？

●遮熱塗料の選び方

次に遮熱塗装に使用される遮熱塗料について説明します。遮熱塗料は、日本のメーカーだけでも数十種類あると言われており、世界各国のメーカーを入れたら数百種類もの遮熱塗料があると言われています。それぞれの遮熱塗料には、それぞれ特徴がありますが、大きく分けると下記の3種類の遮熱塗料が存在しています。



- ・アクリル系
- ・ポリウレタン系
- ・シリコン系

この中で、従来はアクリル系とポリウレタン系が、これまで比較的普及していた遮熱塗料ですが、耐用年数が短いというデメリットがあります。

一方で、最近になって注目を集めているシリコン系は、撥水性が高く耐用性に優れており、価格も最近になって落ち着いてきているため、よく使われるようになってきています。この様に様々な遮熱塗料が存在していますが、お薦めは、汚れのつきにくいシリコン系です。実はアクリル系などの塗料を使用すると仕上がりの表面はざらついた感じになりますが、このざらついた表面に汚れが付着しやすくなるのです。汚れが付着すると、当然反射率が下がってしまいますので、遮熱効率も下がることになってしまいます。

一般に最も反射率の高い色は、白色であり色が暗くなるほど光の反射率は低くなり、黒色は、反射率が最も低い色になります。其の為、遮熱塗料でも白色など明るい色を使用することが多いですが、汚れが付着するということは、この白色が黒く変色していくということになりますので、反射率が落ちていることが一目瞭然となります。

ただ、ここで問題なのは、屋根の塗装は、普段人目につかない点です。実際に見えれば一目瞭然の色の変化も、あえて屋根の上で確認しない限りは目にする機会がありません。しかし、ほこりの多いベトナムでは、年数を経るごとに確実に汚れが付着していきますので、毎年、乾季の始まりには、屋根を水洗いして、綺麗な状態を保つように心がけてください。

掃除が簡便で耐久性と反射率の高いシリコン系は、当初は価格が高く敬遠されていまし

たが、最近では、価格も落ち着いており、最も費用対効果の高い塗料となっています。

●遮熱塗装のタイミング

次に遮熱塗装を行うタイミングについてお話しします。屋根は、普段あまり目にするところがありませんので、気づかないうちに劣化が進み、気づいたときには錆びだらけになっているということが起きやすい場所です。実は、このように錆びだらけになってしまったあとでは、錆び止めに塗ってから遮熱塗装を行うとなると、屋根を張りなおすのと大して変わらないほどの費用がかかってしまいます。

ですから、屋根の遮熱塗装を行うのは、錆びが出始めたころが最適です。錆びが出始めた時には、塗装の塗り替えを行う必要がありますので、その際、建物の構造によっては、遮熱塗料を選択するとより高い効果が得られることになります。

屋根の錆びが出始める時期に関しては、屋根に使用されている素材によって、数年から10年以上と大きな違いがありますので、出来れば毎年1回は屋根の掃除も兼ねて屋根の状況確認を行うことをお勧めします。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料を越南でテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回、壁をお伝えします。次回も、お楽しみに！！

工場の外壁・内壁・床・天井・屋根の塗装無料検査します！

- 無料検査
- 高い診断能力
- 養生・清掃も徹底
- 最大3年保証
- 優れた塗装技術
- 日本人が監修

1 ICHIBAN

○ 517 Hung Loc Street, Hung Dinh Ward, Thuan An Town, Binh Duong Province
☎ 0650-3745-982 ☎ 0937-841-903 (日)
✉ matsushita-ikuro@ichibantoso.com

担当: 松下



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

知らないで損する工場メンテのツボ

壁のメンテナンス(前編)

第六回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。第六回目となる今回は“壁のメンテナンス”をテーマにお届けします。

●工場の壁に使用される塗料

工場の壁に使用される塗料には、一般的にアクリル系、ウレタン系、シリコン系、フッ素系の4種類があります。最も安価なアクリル系塗料では通常耐用年数が3～5年となっており、最も高価なフッ素系は耐用年数が10～15年となっています。

しかし、ベトナムでは、壁の塗装が実質1年しかもたないため、高価なフッ素系塗料は殆ど使用されておらず、殆どがアクリル系塗料を使用しています。

では、耐用年数がアクリル系塗料でも3～5年、フッ素系塗料であれば10～15年あるにも拘らず、なぜ1年しかもたないという事になるのでしょうか？

●塗装が長持ちしない？

外壁の塗装を1年で塗り替える必要がある、最もよくある理由は、実は壁が汚れて見た目が汚くなるからなんです。塗装された塗料自体は、1年後でも基本的な効果は持続

していますが、汚れが付着し全体的に黒ずんだり、雨垂れの跡が黒い筋として何本も付着したりすると、折角高価な塗料を使用して塗装した壁を再度塗りなおさなければならぬことになりかねません。

その為、ベトナムでは、何度も何度も壁の塗装を繰り返すことが多くなるのです。

●なぜ外壁が汚れてしまうのか？

では、なぜ壁が汚れてしまうのでしょうか？その答えは実は水にあります。雨が降らない間に壁の上部の地面と平行な部分に埃等の汚れがたまって行きます。それが雨で壁を伝って流れていくため壁に汚れが付着するのです。壁上部以外にも天井部から雨どいの部分や、窓枠の部分、会社名など壁に設置された文字盤などからも付着した汚れが雨水と共に壁に流れ出して壁を汚してしまいます。

日本では、例えば窓枠の部分には水切りを設置して、窓枠の汚れを含んだ水が直接壁に触れないようにされています。ところがベトナムでは、そもそも水切りを設置していなかったり、水切りを設置していても施工業者が用途を理解していないために、コーキングの打ち方を間違えて全く意味をなしていないものなどが普通に見られます。

また、会社名、ロゴなどの文字は、壁に直接接着してしまうと、雨の時に汚れた水が直接壁に流れてしまいますので、壁から少し浮かせるなどの対策が必要です。

天井の雨どいについても、傾斜の角度を間違えていると汚れた水が全て外壁を伝って流れてしまいますので、壁に水を伝わらせないことを意識した施工が必要です。

●外壁チェック

外壁の汚れとなる原因は、上記の説明の通りです。これらの状況はある程度目視でもチェックが可能です。窓枠の下から黒い雨垂れの筋が出ていないか？外壁に黒い汚れの筋が出ていないか？その水はどこから流れてきているのか？などを確認することで、対応策も考えられるようになります。折角綺麗に塗装した外壁を少しでも長持ちさせる為にも、是非、水の流れをチェックしてみてください。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！



雨垂れの汚れ ①



雨垂れの汚れ ②

次回、壁のメンテナンス(後編)をお伝えします。
次回も、お楽しみに!!

工場の外壁・内壁・床・天井・屋根の塗装無料検査します！

- 無料検査
- 高い診断能力
- 養生・清掃も徹底
- 最大3年保証
- 優れた塗装技術
- 日本人が監修



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

知らないと損する工場メンテのツボ

壁のメンテナンス (後編)

第七回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないと損する工場メンテのツボ」。第七回目となる今回は前回に引き続き“壁のメンテナンス”をテーマにお届けします。

●外壁のクラック

前回は、壁を伝わって雨水が流れることで外壁が汚れてしまい、毎年塗り替えが必要になるケースをお話しましたが、実は、外壁に取っての水のデメリットは汚れだけではなく。外壁などのコンクリートの建造物には、様々な理由からどうしてもクラックと呼ばれるヒビが出来てしまうことがあります。このクラックが外壁を含む様々なコンクリート建造物にとっては、非常に大きなリスクになります。

●塗装は無意味か?

クラックがなぜ問題になるかと言いますと、やはり水と大きな関係があります。クラッ

クがあるとそこから水がコンクリート内部に浸透していきます。コンクリートは、元々アルカリ性の性質がありますが、水が浸透するとアルカリ成分が水に溶け込みます。このアルカリ成分を含んだ水が外壁にしみだしてくると白っぽい汚れが浮き出てくることになります。また、コンクリート内部のアルカリ性が弱くなると内部の鉄筋が酸化し易くなり、鉄筋の錆を誘発してしまいます。コンクリート内の鉄筋が酸化すると錆が発生するだけではなく、膨張して内部からコンクリートを破壊してしまいます。また、コンクリートのアルカリ性が抜けきってしまうと、コンクリート本来の特性が失われ、砂の様な状態になってしまい、手でも簡単に穴が空けられるような状況になってしまいます。

ここまで、コンクリートの劣化が進んでしまうと、大規模な補修作業が必要となりますので、塗装だけの話ではすまなくなってしまう、莫大な費用が掛かることも考えられます。

●外壁を長持ちさせるためには

このような水による被害を防ぐために最も大事なことは、確実な定期点検です。業者などに依頼して毎年1回は点検作業を行うようにしましょう。

また、クラックの有無や、雨垂れの筋などは目視でもある程度確認可能ですので、自分の目でも時折確認を行うようにしましょう。

クラックなども直に補修を行えば、費用もそれほど掛からず効果的に壁を守ることが出来ます。また、屋根部分などの防水材も気付かないうちに効果がなくなっていることもありますので、普段目につかない屋根なども業者に依頼して定期点検を行うようにしましょう。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい!

次回、壁のメンテナンス (後編)をお伝えします。
次回も、楽しみに!!



工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底

1 ICHIBAN



松下郁雄

1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

床のメンテナンス

壁のメンテナンス(後編)

第八回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らない」と損する工場メンテのツボ。第八回目となる今回は“床のメンテナンス”をテーマにお届けします。

床の塗装は、日々従業員が歩行したり、荷物やフォークリフトが通過したりと壁や屋根に比べて、摩擦の起きやすい環境です。そんな床塗装について、長持ちさせる方法や塗り替え時期などの説明を行います。

●下地処理

床の場合も塗装を行う上で最も重要なのが下地処理時です。コンクリートに油が染み込んでいるとその上から塗装を行ってもすぐにはがれてしまいます。その為、まずは下地のコンクリートをよく確認し、油がしみこんでいる場合は、油の除去からスタートすることになります。油を除去するためには洗剤を使用しますが、コンクリートはアルカリ性ですので酸性の洗剤は絶対にNGです。必ずアルカリ性の洗剤を使用してください。油を取り除いたら、表面の悪くなっている部分を研磨しながら削り取ります。最後に防水処理を行って、ようやく塗装が行える状態になります。この下地処理を疎かにするとすぐに塗装がはがれてしまいますので、気を付けましょう。

また、床の表面を平らにしておくことも重要です。でこぼこの段差があると台車などで床に傷がつきやすくなり、劣化の原因になりやすくなります。また、元沼地を埋め立てたような地盤の弱い地域では、下から水が上がってきてしまい塗装がはがれたり、床が膨れ上がるといった現象が発生してしまいます。これを防ぐためには、最初しっかりと床に防水処理をしておく必要があります。コンクリートの継ぎ目は特にひび割れやすい箇所ですが、これも目地を切ってシールをしておけば防ぐことが出来ます。とにかく塗装は、下地処理が重要ですので、覚えておいてください。

●床塗装を長持ちさせるには？

床塗装を長持ちさせるポイントは、塗料の下コンクリート部分に水や油がしみこまないようにすることです。その為、床に傷や穴が空いた場合は、すぐに補修するようにしましょう。放っておくとその部分から水や油がコンクリートへ浸み込んでしま

う可能性があります。また、水や油を多く使用する現場では、それぞれの環境に合った塗料を選択することが重要です。ローカル塗装業者などは、すぐに塗り替えることを前提に安い塗料を選択することが多いですが、それでは、毎回塗り替えが必要となってしまいます。現場の状況をよく確認し、最適の塗料を選択することで、塗装を長持ちさせることは可能です。

ICHIBAN塗装では、現場の状況に応じて10種類以上の塗料から最適の塗料をご提案することが出来ますので、塗料の選択に迷ったら、是非ご相談ください。

傷や穴の補修の原因への対策も重要です。塗料はそれほど硬いものではありませんので、鉄や砂などの硬い物と接触するとすぐに傷つきます。

その為、作業者の靴について砂などが床塗装を傷つけないように、作業者の足元にマットなどを引くことも塗装を長持ちさせる工夫の一つです。また普段から清掃をしっかりとしておくことで、床の傷つきを予防することも可能です。

●床塗装塗り替えのタイミングは？

床の塗装は、現場の環境によって塗り替えに必要な期間が変わります。クリーンルームのような場所であれば、10年以上もつこともありますが、重いものを扱ったり、水や油を大量に使用するような現場では、1年未満で再塗装の必要がある場合もあります。床塗装の塗り替えのタイミングは、コンクリート面が見える前の透けて見える状態がベストです。コンクリート面が見えてしまつては、再塗装にかかる時間とコストも高くなりますので、その前に塗り替えを行うようにしましょう。

塗り替えの際には、前の塗装が残っている状態ですが、前回の塗装が十分な下地処理を行わずに行われている場合、その上から再塗装を行ってもすぐにはがれてしまう危険性があります。出来れば、



ば、以前の塗装は一旦綺麗に剥がして、下地処理をしっかりと行ってから再塗装を行うことが望ましいです。

再塗装の際には、作業エリアと通路で色を分けるなどの対応も可能です。床には、濃い緑色が使用されることが多いですが、グレーやオレンジ等様々な色でも塗装は可能です。

また、塗装業者を選定する前に試験塗装を行ってみることも重要です。実際の現場の一部分のみを実際の施工と同じ条件で塗装することで、効果を事前に確認することが可能です。ICHIBAN塗装では、試験塗装にも対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

●ICHIBAN塗装の特徴

ICHIBAN塗装は、日本人エンジニアが長年の経験と技術により塗装に関するあらゆる問題を解決します。ベトナムローカル企業では、安かろう悪かろうのその場しのぎの塗装が横行していますが、ICHIBAN塗装は違います。

各現場を細かく診断し、その現場に最適の塗料と塗装方法をご提案します。また、塗装前には、下地処理を徹底して行う為、他社に比べて塗装の劣化が起きにくく、結果的に長く使用できます。

塗装方法にも、独自の技術を導入しており、ライン部分の塗装だけが先に消えてしまつたり、塗装後すぐに問題が発生することもございます。万が一問題が発生した場合も、迅速に補修対応しております。

また、試験塗装にも対応していますので、床塗装でお困りの際はご連絡ください。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回も、楽しみに!!

工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底

1 ICHIBAN

○ 517 Hung Loc Street, Hung Dinh Ward, Thuan An Town, Binh Duong Province
☎ 0274-3745-982 ☎ 0937-841-903 (日)
✉ matsushita-ikuro@ichibantoso.com

担当: 松下

1 ICHIBAN



松下郁雄

1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始。
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る。
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する。
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら、今日もベトナムの
工場メンテナンスの向上に奮闘中。

知らないと損する工場メンテのツボ

無料検査と塗装の提案

第九回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないと損する工場メンテのツボ」。第九回目となる今回は“無料検査と塗装の提案”をテーマにお届けします。日頃、ベトナムで業務に従事している皆さん!!工場の施設内で塗装の色が薄くなってきている、外壁に黒い筋が出てきて気になっている、工場内の窓の回りのモルタルが崩落していて補修・対策をしたいなどでお悩みではありませんか?ベトナムにある様々な塗装会社の内、どの企業に依頼したらいいのかお困りの皆様!ぜひ、今回の「知らないと損する工場メンテのツボ」をお読みください。そして一度無料検査だけでも、お受けになってみませんか?

さて、今回は、弊社が実施している無料検査をQ&A方式で、詳しくご紹介していきます。

●検査のタイミングはいつ頃が適切ですか?

壁自体が白っぽくなったり、黄色く汚れたり、黒ずみが目立ち始めたら、検査タイミングのサインになります。もう一つのタイミングが実は意外なことに建物が建てられてから2年以上経っていれば、いつでも適正なタイミングです。建物が完成して2年ほどでセメントなどが落ち着き悪い所が浮き彫りになってくるためです。その後も定期的に検査と補修を行えば、トータルで見た時には確実に低コストで建物の維持が可能です。壁や建物も人間と同じように定期的に健康診断をすることで、建物を長持ちさせることが出来るのです。人間に例えると、建物の壁は皮膚にあたり、床や天井等は、体内組織にあたります。定期検査を実施していないと、簡単な補修では対応できなくなり、莫大な修繕コストがかかることもあります。明らかな症状が出てからでは手遅れになる可能性もあります。少しでも異変を感じたら早期発見の為に、無料検査を是非ご活用ください。

●具体的には、どのような検査を実施しているのですか?

オフィス棟から始まり、倉庫や工場など全ての場所で検査を実施します。床、壁は勿論のこと、普段、目にする機会の少ない屋根の状態も検査し、写真撮影も行います。検査項目は、建物の状況により多少変更が有りますが、検査項目が40項目以上にわたるケースもあります。

●検査報告書はどのくらいで出来上がりですか?

基本的には早ければ、1週間程度をみていただければと思います。ただし、現場ごとに建物の状況が異なりますので、まずは現場の状況を確認してから判断となります。無料検査をご依頼いただいた際に適時検査報告書の納期もお伝えします。

●検査報告書の内容はどのようなものですか?

報告書には、検査項目ごとに実際に確認した場所の写真と共に現在の状況、今後必要な対策などが記載されています。また、塗装の現状報告だけでなく、将来的に建物に悪影響を与える可能性の高い壁のクラック、金具のさび等の不具合に関しても記載しています。また、検査後には、報告書に基づいて補修措置や再塗装の必要性についても細かくご説明していますので、今後の工場メンテナンスのご参考になると思われます。検査報告内容にご不明な点がある場合は、お客様がご納得いただけるまで丁寧に説明させていただきます。最後に、補修等に関する弊社の参考見積りを提出しますので、工場補修の参考にしていただければと思います。弊社は、同業他社に比べて品質面と技術面に優



位性がございまして、まずは一部だけでも補修、再塗装などをご依頼いただければ、違いが歴然とお分かり頂けます。

●なぜ検査を受ける必要があるのでしょうか?

各企業のご担当者様にまずは客観的に自社の建物の状況を理解して頂くことが目的です。毎日見慣れているがゆえに見落としている建物の不具合に気づいていただくために、客観的な視点で作成された検査報告書が有益です。また、日本本社など実際に現場を見ることが少ない方々にも、現地の状況を伝えやすくなります。

●どうすれば、長期的に工場をきれいに保つことができますか?

このような質問に関しては、無料検査実施後に報告書を提出する際に、現場の状況に応じて回答させて頂いています。具体的には、お客様の建物の状況に応じて下地処理から、最も適した塗料を選定する為の試験塗装のご提案、塗装を劣化させる原因となる建物の不具合に対する補修方法のご提案などを行っています。弊社は、短期的な業務ではなく、長期的な視点に立って、お客様にとって最もメリットのある対応を心掛けており、『お客様の目的に応じた塗装の提案をしたい』と考えています。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい!

次回も、楽しみに!!

工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底

1 ICHIBAN

◇ 517 Hung Loc Street, Hung Dinh Ward, Thuan An Town, Binh Duong Province
☎ 0274-3745-982 ☎ 0937-841-903 (日)
✉ matsushita-ikuo@ichibantoso.com

担当: 松下

1 ICHIBAN



松下郁雄

1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始。
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る。
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する。
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら、今日もベトナムの
工場メンテナンスの向上に奮闘中。

知らないと損する工場メンテのツボ

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないと損する工場メンテのツボ」。第十回目となる今回は“鉄の塗装”をテーマにお届けします。

今回のテーマは鉄の塗装です。工場では、ゲート、フェンスなどの鉄の構造物をはじめ、雨どい等の留め具などにも鉄が使用されています。皆さんご存知の通り、鉄は、放っておくと酸化して錆びてしまいます。時々工場のゲートなどが酷い錆び状態になっていることを目にすることがありますが、実はこの鉄の錆びも塗装工程によって予防することが可能です。錆びは、鉄が水と空気に触れることによって発生します。つまり鉄の表面を塗装して鉄が直接水や空気に触れないようにしておけば錆びは予防可能となります。しかし実際には、工場入口のゲートや、周囲のフェンスが錆びついてしまっている状態を見かけることはそれほど珍しくありません。

●塗装されているはずなのになぜ錆びるのか？

その原因の一つが下処理不足です。ベトナムのローカル塗装業者などでは、何も下処理をせずに鉄にそのまま塗装を行うことが一般的ですが、これは良くありません。鉄というのは、元々錆びを防ぐために表面に防錆油が塗布されています。この状態のまま、塗装を行うと塗料がしっかりと鉄の表面に乗りないため、簡単に剥がれてしまいます。塗料と油がはがれてしまうと鉄の表面がむき出しになってしまい、鉄がさびやすくなります。その為、本来であれば、まず塗装面の油をしっかりと除去してから塗装を行わなければ

なりません。ベトナムの一般の塗装業者では、知識不足からそのような下処理を行わずに塗装を行うことが一般化しており、1年も経たないうちに錆が出始めることになってしまいます。

鉄の錆びは何も対処をしなれば、自然に回復することはなく、悪化していく一方です。悪化すればするほど修復の手間もかかります。また、フェンスなどの場合、錆びが進むと部外者の侵入を許してしまう可能性も排除できず、防犯上も得策とは言えません。

ですから、鉄のゲートやフェンスの場合、錆びが少しでも目につくようになったら直に対応をお考え頂くことが肝心です。

また、ゲートやフェンス以外では、会社の看板やロゴの塗装が落ちることもよくあります。看板やロゴは、鉄に限らず、ステンレスやプラスチックが使用されていることもあります。これらの色落ちも原因は、下処理の不足と塗装の塗膜が薄いことが殆どです。

こういった場所の塗装でも、一番塗装では、しっかりと処理を行ってからポリウレタン塗料を2回塗装して、更にクリアを1回塗装しますので、塗装から3年経過しても色落ちは



鉄の塗装

第十回

殆ど起きません。また、現地生産の塗料を活用することで、お客様のご希望の色に対しても色合わせを行うことが可能です。塗装は、塗料の種類によっても劣化年数が違いますので、ベトナムの環境に応じて最もコストパフォーマンスの高い塗装方法のご提案をさせていただきます。

●一番塗装の特徴

ICHIBAN塗装は、日本人エンジニアが長年の経験と技術により塗装に関するあらゆる問題を解決します。ベトナムローカル企業では、安かろう悪かろうのその場しのぎの塗装が横行していますが、一番塗装は違います。

各現場を細かく診断し、その現場に最適な塗料と塗装方法をご提案します。また、塗装前には、下処理を徹底して行う為、他社に比べて塗装の劣化が起きにくく、結果的に長く使用できます。

塗装方法にも、独自の技術を導入しており、ライン部分の塗装だけが先に消えてしまったり、塗装後すぐに問題が発生することもあります。万が一問題が発生した場合も、3年間は無料保証で迅速に補修対応しております。

また、試験塗装にも対応していますので、塗装でお困りの際は、直ぐにご連絡ください。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回も、楽しみに!!

工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底

1 ICHIBAN

◇ 517 Hung Loc Street, Hung Dinh Ward, Thuan An Town, Binh Duong Province
☎ 0274-3745-982 ☎ 0937-841-903 (日)
✉ matsushita-ikuo@ichibantoso.com

担当: 松下



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始。
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る。
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する。
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら、今日もベトナムの
工場メンテナンスの向上に奮闘中。

知らないで損する工場メンテのツボ

塗料の種類(前編)

第十一回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。第十一回目となる今回は“塗料の種類(前編)”をテーマにお届けします。

今回のテーマは“塗料の種類”です。まず、工場などの外壁、屋根、床の塗装に使用される塗料は、大きく分けて、アクリル塗料、ウレタン塗料、シリコン塗料、フッ素塗料4種類あります。今回はこれらの塗料の特徴について説明します。

まず、アクリル塗料ですが、これはベトナムで最も良く使用されている塗料です。特徴としては、価格が安いことと耐用年数が短いことが挙げられます。アクリル塗料を使用した場合、長くて5年に1度は塗り替えが必要になりますので、長期的に見るとコストが高くなります。5年以内に解体や色の変更などがある場合は最適な塗料です。

2つ目のウレタン塗料は、ウレタン系樹脂を主成分とする塗料全般をいいます。ウレタン塗料は、塗膜が柔らかく密着性に優れた塗料です。また、ウレタンは光沢があり弾力性が高いので、木部や塩ビ製の雨樋などの塗装に適しています。耐候性が高く防水性能もあるので屋外などの防水工事などに使われることもあります。耐久性もアクリル塗料より高く、正しい方法で塗装を行えば7年程度は塗り替えの必要がありません。ベトナムでは高級塗料として扱われています。

3つ目のシリコン塗料は、日本の外壁塗装で、最もよく使用されている塗料です。シリコン系塗料の耐久年数は12年～15年となっており、4種類の塗料の中では、最もコストパフォーマンスに優れた塗料となっています。雨や泥を弾くためのコーティングも

できるため、塗装後も長期に渡った美観が保たれます。

4つ目のフッ素系塗料は、4種類の中で最も耐久性の高い塗料で、外壁塗装に求められる耐熱性や耐寒性にも優れた効果を発揮します。しかし、価格も非常に高価な為、特別な場合を除いて、外壁塗装には、あまり使用されていません。

現在、ベトナム国内で製造されている塗料は、アクリル系塗料とウレタン系塗料のみで、シリコン系塗料とフッ素系塗料は、海外から輸入する必要がありますので、更に割高になります。外壁塗装に使用される塗料でベトナムで最も普及しているのが、アクリル系塗料で、全体の95%以上を占めています。上記の通り、塗料の種類によって価格と耐用年数が異なりますので、塗装する場所に応じて最も適切な塗料を選択することが重要です。

種類	平均耐久年数
アクリル系塗料	3-5年
ウレタン系塗料	5-7年
シリコン系塗料	7-10年
フッ素系塗料	13-10年

●一番塗装の特徴

一番塗装は、日本人エンジニアが長年の経験と技術により塗装に関するあらゆる問題を解決します。ベトナムローコスト企業では、安かろう悪かろうのその場しのぎの塗装が横行していますが、一番塗装は違います。

各現場を細かく診断し、その現場に最適な塗料と塗装方法をご提案します。また、塗装前には、下地処理を徹底して行う為、他社に比べて塗装の劣化が起きにくく、結果的に長く使用できます。

塗装方法にも、独自の技術を導入しており、ライン部分の塗装だけが先に消えてしまったり、塗装後すぐに問題が発生することもございません。万が一問題が発生した場合も、3年間は無料保証で迅速に補修対応しております。

また、試験塗装にも対応していますので、塗装でお困りの際は、直ぐにご連絡ください。



撥水型塗料



通常塗料

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい!

次回は塗装の種類(後編)をお伝えします。

工場の無料診断します!!

詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始。
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る。
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する。
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら、今日もベトナムの
工場メンテナンスの向上に奮闘中。

知らないで損する工場メンテのツボ

塗料の種類

第十二回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。第十二回目となる今回は“塗料の種類(後編)”をテーマにお届けします。(主要塗料4種類に関して前編91号参照)

今回のテーマは“塗料の種類(後編)”です。前回は、工場などの外壁、屋根、床の塗装に使用される塗料は、大きく分けて、アクリル塗料、ウレタン塗料、シリコン塗料、フッ素塗料4種類あることを説明しました。今回はこれらの塗料の適切な業者の見極め方法について説明します。

現在、ベトナム国内で製造されている塗料は、アクリル系塗料とウレタン系塗料のみで、シリコン系塗料とフッ素系塗料は、海外から輸入する必要がありますので、更に割高になります。外壁塗装に使用される塗料でベトナムで最も普及しているのが、アクリル系塗料で、全体の95%以上を占めています。

上記の通り、塗料の種類によって価格と耐用年数が異なりますので、塗装する場所に応じて最も適切な塗料を選択することが重要です。

但し、ここで、注意すべき点は、上記の耐用年数は、正しい使用方法と正しい塗装方法を行った場合であることです。

実は、ローカルの塗装業者などでは、塗装に使用する塗料を水で薄めて水増ししたり、2度塗り、3度塗りが必要とされているにもかかわらず1度しか塗装を行わない等の方法により、塗料の使用量を抑えて価格を下げていることがあります。

この様な業者は、見積を取ると他の業者に比べて明らかに安い金額を提示してきますが、実際に塗装を行うと、1年程度で塗り替えが必要になったりします。

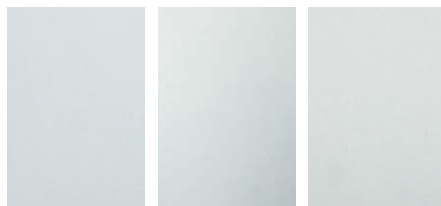
2度塗り、3度塗りが必要な場合でも、1度塗ってしまえば、重ね塗りをしているかどうかは素人の目には判断が付きませんので、気付かないままというケースも少なくありません。

こういった悪質な塗装業者に騙されないためには、塗装に必要な塗料の量を確認し、管理することが重要です。塗装に必要な㎡数が確定すれば、それに必要な塗料の量は確定しますので、正しい量の塗料が使用されているか確認しましょう。

また、実際に塗装を行う際に、どれだけの量の塗料を持ち込んでいるかも確認した方が良いでしょう。その際、複数の塗料缶が開封されている場合は、水増ししている可能性があります。また、持ち込んだ塗料が全て現場で使用され、持ち帰りが無いかも確認が必要です。

一番塗装では、日本人が現場を管理していますので、上記のような問題が発生することはなく、ご依頼主様の塗装管理の手間も省くことができます。

塗装の見積りを取得する際には、金額だけではなく、上記の点も踏まえて検討して頂くことが重要です。



水無し

水20%

水50%

●一番塗装の特徴

一番塗装は、日本人エンジニアが長年の経験と技術により塗装に関するあらゆる問題を解決します。ベトナムローカル企業では、安かろう悪かろうのその場しのぎの塗装が横行していますが、一番塗装は違います。

各現場を細かく診断し、その現場に最適な塗料と塗装方法をご提案します。また、塗装前には、下地処理を徹底して行う為、他社に比べて塗装の劣化が起きにくく、結果的に長く使用できます。

塗装方法にも、独自の技術を導入しており、ライン部分の塗装だけが先に消えてしまったり、塗装後すぐに問題が発生することもございます。万が一問題が発生した場合も、3年間は無料保証で迅速に補修対応しております。

また、試験塗装にも対応していますので、塗装でお困りの際は、直ぐにご連絡ください。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回も、楽しみに!!

工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始。
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る。
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する。
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら、今日もベトナムの
工場メンテナンスの向上に奮闘中。

知らないで損する工場メンテのツボ

ハノイの塗装

第十三回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。第十三回目となる今回は“ハノイの塗装”をテーマにお届けします。

ICHIBAN塗装は、ホーチミン市を中心とした南部エリアを活動の中心としていますが、時にはハノイの企業様からお問い合わせを頂くこともございます。今回は、ホーチミン市とハノイ市の違いを塗装の視点から解説したいと思います。

皆さんご存知の方も多いと思いますが、ホーチミン市とハノイ市は、南北に1,600km離れていますので、当然気候にも大きな違いがあります。ホーチミン市は、熱帯モンスーン気候で雨季と乾季があるものの年間の気温はそれほど大きな変化がありませんが、ハノイ市は、四季があるとされており冬場には10℃以下になることもある一方で、夏場には40度を超える猛暑になることもあります。更にハノイ市の最も大きな特徴が湿度の高さです。年間を通じて湿度が90%以上になることも珍しくないハノイ市は、塗装環境としては、非常に厳しい環境です。ハノイの街を歩くと町全体が暗く見えることがありますが、これは天気の影響だけではなく、建物の外壁の塗装した部分にカビが生えているために黒ずんで見えるのです。

工場の外壁も例外ではなく、北部の工業団地では、塗装にカビが生えて黒ずんでしまっている建物を良く見かけます。一旦カビが生えてしまった場合、カビの菌はコンクリート内部にまで浸透している可能性が高いので、塗装を全部剥がしたうえで塩素系のカビ取り剤でカビを徹底的に殺菌してから、水洗いをして防カビ用塗料で再塗装を行うことで、カビの再発生を極力抑えることが可能になります。カビは、建物の美観を損ねるだけではなく、建物の腐植を促す原因となったり、人体に悪影響を与えたりする場合がありますので、

注意が必要です。

湿度が高いことで起きるもう一つの問題が結露です。このコラムでも何度もお話していますが、コンクリート、鉄などの構造物にとって水がしみこむことは非常に危険です。その為にコンクリートや鉄が直接水と触れないように様々な工夫を凝らしますが、結露は、温度差があればどこにでも発生してしまうので、非常に対応が厄介です。

特に工場内の温度を一定に保つ必要のある工場では、外気温との差で工場の内部・外部に結露が発生しやすくなりますので、注意しましょう。

また、ハノイ市の湿度は、塗装の施工にも大きな影響を与えます。湿度が高い状況では、塗料が乾くまでに通常より長い時間が必要となり、その間に空気中の埃などが柔らかい塗料の表面に付着して色が黒くなる可能性があります。更に気温が低くなると塗料の乾燥が更に遅くなる可能性がありますので、ハノイ市で塗装を行う場合は、夏場に行うのがベストです。

ホーチミン市の場合、3回塗装を行うとしても1回の塗装が3時間で乾きますから、1日で3回塗装することも十分に可能ですが、ハノイの場合は、1回の塗装が乾くまで2日間かかることもありますので、3回塗装を行うには1週間かかってしまいます。

ハノイ市の気温変化と高湿度は、塗料にとっては非常に負担のかかる環境ですから、毎年定期的にメンテナンスを行うなど、ホーチミン市よりも小まめな対応が必要になります。

ベトナムのローカル企業では、このような北部の自然環境を考慮せず通常の塗料で塗装を行うことが多くありますが、建物を長持ちさせるためには、ハノイ市の環境を考慮した塗料の選定が必要です。先述の防カビ塗料なども、通常の塗料に比べて5~10%程度割高ですが、トータルのメンテナンスコストを考えた場合には、防カビ塗料を使用した方がお得です。

弊社は、南部を拠点に活動している企業ですが、北部にもパートナー塗装業者がいますので、北部で塗装にお困りごとがございましたら、ご連絡ください。

●ICHIBAN塗装の特徴

ICHIBAN塗装は、日本人エンジニアが長年の経験と技術により塗装に関するあらゆる問題を解決します。ベトナムローカル企業では、安かろう悪かろうのその場しのぎの塗装が横行していますが、ICHIBAN塗装は違います。

各現場を細かく診断し、その現場に最適な塗料と塗装方法をご提案します。また、塗装前には、下地処理を徹底して行う為、他社に比べて塗装の劣化が起きにくく、結果的に長く使用できます。

塗装方法にも、独自の技術を導入しており、ライン部分の塗装だけが先に消えてしまったり、塗装後すぐに問題が発生することでもありません。万が一問題が発生した場合も、3年間は無料保証で迅速に補修対応しております。

また、試験塗装にも対応していますので、塗装でお困りの際は、直ぐにご連絡ください。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回も、楽しみに!!

工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底



松下郁雄

1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始。
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る。
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する。
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら、今日もベトナムの
工場メンテナンスの向上に奮闘中。

知らないと損する工場メンテのツボ

工場メンテナンスのまとめ 第十四回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないで損する工場メンテのツボ」。第十四回目となる今回は“工場メンテナンスのまとめ”と題してお届けします。

一番塗装は、これまでに、多くのお客様からお問い合わせを頂き、工場の無料点検は勿論のこと、実際の外壁、床、屋根の塗装を通じて様々な問題点や課題を見つけ、その改善に努めてきました。今回は、私の経験から得た工場塗装のポイントを実体験を元にお伝えします。

一番塗装を起業してからこれまで、数多くの工場の塗装を手掛けてきましたが、正直に申し上げると毎回塗装を行うたびに新たな課題が見つかり、その度に問題の原因追求と改善策に取り組んできました。勿論、失敗も経験しましたが3年保証を行っているので、問題が発生した際には、無料で対応し、新たな改善につなげてきました。ベトナム国内で塗装に3年保証を行っているのは、弊社だけの強みであり、常にベストの塗装を行うことへの自信の裏返しでもあります。今でも常に新しい塗料、塗装技術、塗装設備に対する研究を続けており、新しい塗料があれば自社工場で塗装実験を繰り返しています。

これまでの経験から得た塗装を長持ちさせるためのポイントは、この連載でも何回もお話してきましたが、塗装の前に正しい下地処理と建物の補修を徹底的に行うこと、そして適切な塗料を正しい方法で塗装することです。これは、一見当たり前のお話の様に聞こえるかもしれませんが、実際にはベトナムの多くの塗装業者では実践されていません。これまでローカルの塗装業者に依頼して1年間に何回も床の再塗装を行う必要があった工場でも、弊社が塗装を行ってからは、2年以上経っても再塗装の必要が無いケースや、会社のロゴが色落ちするので毎年塗り替えを行う必要があったが、弊社が塗装を行っ

からは3年間塗装を維持しているケース、床塗装で、白線などのマーク部分の塗装が1年も経たずに剥げ落ちてしまっていたのが、弊社が独自に研究した塗装方法に変更することで、3年たっても消えないなど、これまでに多くの実績を残してきています。

弊社の塗装は、下地処理から徹底して行いますので、再塗装時にも低コストで塗装が可能ですし、建物の劣化を防ぐことにもつながっていますので、長期間で見た場合には、同業他社に対して圧倒的なコストパフォーマンスを発揮できていると自負しています。

屋根などの見えない部分は、どうしても目が届きにくく補修や塗装のタイミングが遅れてしまいがちですが、悪い状態を放置しておく、屋根の張替えといった大掛かりな処置しか対処方法がなくなってしまう。そうなる前に定期チェックを行い、10年に1回程度、屋根の塗装を行っていれば、屋根の張替の必要はなくなります。

普段工場を管理する皆様は、建物の管理に時間を取ることが難しいと思いますので、是非弊社の無料工場診断を活用して頂き、定期的に建物の状態をチェックすることをお勧めします。これまで弊社が実施した無料診断では、思った以上に建物の状態が悪く診断結果を見て、驚かれることも少なくありません。工場のメンテナンスで最も重要なのは早期発見、早期補修です。まだ大丈夫と過信せずにはまず、プロのチェックを受けてみてください。

その結果をもって弊社では、お客様の立場に立つてもっともコストパフォーマンスの高い塗装をご提案させていただきます。勿論、その中で最初は一部分のみの塗装からでも対応しますし、従来の塗装との違いを確認したい場合は、試験塗装にも対応しています。

これからも、日本の品質と納期管理を徹底し、ベトナムの日系企業の工場を美しく保つことに貢献し続けていきたいと考えています

ので、工場のメンテナンスでお困りごとがあれば、お気軽にご相談をお願いします！

一番塗装の特徴

一番塗装は、日本人エンジニアが長年の経験と技術により塗装に関するあらゆる問題を解決します。ベトナムローカル企業では、安かろう悪かろうのその場しのぎの塗装が横行していますが、一番塗装は違います。

各現場を細かく診断し、その現場に最適な塗料と塗装方法をご提案します。また、塗装前には、下地処理を徹底して行う為、他社に比べて塗装の劣化が起きにくく、結果的に長く使用できます。

塗装方法にも、独自の技術を導入しており、ライン部分の塗装だけが先に消えてしまったり、塗装後すぐに問題が発生することでもございません。万が一問題が発生した場合も、3年間は無料保証で迅速に補修対応しております。

また、試験塗装にも対応していますので、塗装でお困りの際は、直ぐにご連絡ください。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい！

次回も、お楽しみに!!

工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底